

# 「国際リゾートとっとりプラン」の策定について

平成25年4月19日  
国際観光推進課

平成22年度に策定した「鳥取県国際観光アクションプログラム」について、2月8日（金）から3月4日（月）まで実施したパブリックコメントの結果を踏まえて、「国際リゾートとっとりプラン」として発展的に改訂し、策定しました。

## 1 概要

- (1) **プランの趣旨** 外国人観光客の増加を目指すための国際観光振興の取組に関する指針
- (2) **計画期間** 平成25年度～27年度（3年間）
- (3) **基本戦略** 「北東アジアゲートウェイプラス」  
（米子ソウル便・環日本海定期貨客船を活用した韓国からの誘客に加え、県内空港・港湾へのチャーター便・クルーズ客船及び近隣空港の定期航空便を活用し、中国・台湾・香港・ロシア・東南アジアなど、海外の新規エリアからの誘客を図る）
- (4) **目標数値**  
県内の外国人延べ宿泊者数 30,000人超（全国30位台）
- (5) **施策体系**
  - ア 受入環境整備**
    - ①県内関係者の機運醸成
    - ②二次交通の充実
    - ③国際観光案内体制の整備
    - ④県内観光施設・商業施設・宿泊施設・主要交通拠点の多言語化の充実
    - ⑤県内観光施設・商業施設・宿泊施設・主要交通拠点における利便性の向上
    - ⑥観光素材のブラッシュアップ
  - イ 海外プロモーション**
    - ①ターゲット（国・地域）の明確化及びアプローチ深度に合わせたプロモーション
    - ②他県空港からの誘客
    - ③広域連携による効率的なプロモーション
    - ④地域資源を前面に出した誘客
- (6) **推進体制**  
県、市町村（広域連合）、観光団体、民間企業・観光施設等をメンバーとする「国際リゾートとっとり推進協議会」を設置。

## 2 パブリックコメントの実施結果

- (1) **実施期間** 平成25年2月8日（金）～3月4日（月）
- (2) **意見件数** 274件
- (3) **主な意見**
  - ・中国や韓国は、距離も近く日本との結びつきも強いので、重点的に集客すべき。
  - ・台湾や東南アジアからの誘客を進めるべき。
  - ・現在、豪華客船が寄港しており、これを国際観光振興の柱の一つにすべき。
  - ・羽田空港国際線を利用したプロモーションも必要。
  - ・観光は一つの県だけで考えるのではなく、隣接する県や地域とのパッケージで考えることが必要。
  - ・景観、伝統、文化などで日本や鳥取の歴史等を楽しんでもらうのがよい。
  - ・外国人よりも日本人観光客の誘客に力を入れるべき。

## 3 今後の対応

4月～5月にかけて、県内関係者（市町村、観光団体、事業者等）を対象とした本プランの説明会を実施して周知するとともに、「国際リゾートとっとり推進協議会」を設置し、プランの推進を図る。